岩手県気仙地区※の復興住宅調査検討

地域の力を活用した木造復興住宅の供給と住宅再建推進体制を構築しました

※大船渡市、陸前高田市、住田町から構成される地域

地域型木造復興モデル住宅

岩手県　住田町

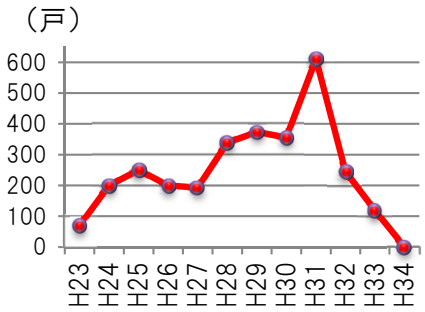
陸前高田市

背　景

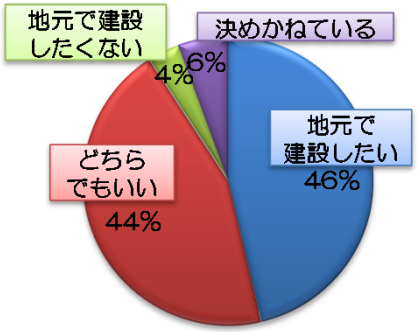
- 東日本大震災からの復興・再生のための地域定住化が急務。
- 被災地において、復興・暮らしの基盤となる「住まい」の再建が喫緊の課題。

成　果

1 復興住宅供給の課題整理



陸前高田市における
再建住宅建設戸数の推定



住宅再建者の意向調査の一例
（地元建設業者等の利用意向）
（回答902件）

○今後再建住宅の建設戸数の大幅な増加が見込まれる中で、住宅再建者は地元の建設業者等による建設を希望している。
○これに対し地域が連携して取り組むために、コンセプトの共有と地域の推進体制構築が必要。

2 地域型木造復興住宅のガイドブックを作成

○気仙地区らしい住宅のコンセプトを提案するガイドブックを作成した。
○ガイドブックを基にしたモデル住宅が建設された。（住田町3棟、陸前高田市2棟）

3 住宅再建の推進体制の構築

○再建者・生産者・専門家が一体となった地域での推進体制を構築した。

期待される効果

- H26年度以降は大船渡市、陸前高田市の事業として展開し、住宅再建・復興の促進を図る。（支援を継続中）
- 被災地における住宅再建推進の先導的なモデルとして他地域への展開・活用を図る。

※本調査研究は、国土交通省「住宅市場技術基盤強化推進事業：総合的な地域住宅生産体制の強化に関する方策の調査・検討等：東日本大震災の被災地における地域型復興住宅の供給体制整備方策検討」にて実施しました。

共同実施機関：大船渡市、陸前高田市、住田町、気仙広域環境未来都市推進事業体

地方独立行政法人　北海道立総合研究機構
電話:011-747-2804
http://www.hro.or.jp